

令和元年度 学校教育自己診断（学校評価アンケート）の結果と考察

アンケート回答数（回答率）

令和元年 10月10日（木）2年 18日（金）1・3年配付 10月26日（土）回収〆切

	在籍	実施日	生徒			保護者			教職員
			1年生	2年生	3年生	1年生	2年生	3年生	
令和元年度	662人 内訳↓ 1年 222 2年 227 3年 213	10/10 10/18	654人(99%)			573人(87%)			51/51人 (100%)
			215 (97%) 長欠 7	227 (100%) 長欠 0	212 (99%) 長欠 1	201 (91%)	183 (81%)	189 (89%)	
平成30年度	668人 内訳↓ 1年 238 2年 220 3年 210	10/19	661人(99%)			600人(90%)			50/50人 (100%)
			234 (98%) 長欠 4	217 (99%) 長欠 3	210 (100%) 長欠 0	218 (92%)	208 (95%)	174 (83%)	
平成29年度	696人 内訳↓ 1年 237 2年 221 3年 238	10/20	687人(99%)			546人(78%)			54/54人 (100%)
			232 (98%) 長欠 5	218 (99%) 長欠 3	237 (99%) 長欠 1	222 (96%)	150 (69%)	174 (74%)	
平成28年度	717人 内訳↓ 1年 237 2年 256 3年 224	10/21	706人(98%)			511人(72%)			54/54人 (100%)
			231 (97%) 長欠 6	251 (98%) 長欠 5	224 (100%) 長欠 0	188 (81%)	201 (80%)	122 (54%)	
平成27年度	722人 内訳↓ 1年 271 2年 229 3年 222	10/29	707人(98%)			487人(67%)			54/55人 (98%)
			264 (97%)	221 (97%)	222 (100%)	203 (75%)	139 (61%)	145 (65%)	

年次別（過去3年間のデータと比較）

生徒

- ・「部活動は盛んである」のポイントが横ばいであったことを除いて、全ての項目でポイントが上昇している。
- ・3年連続でポイントが低下していた「今のクラスに友達がいる」の項目が改善しており、生徒たちのコミュニケーション能力を向上させるために取り組んでいるグループワークを取り入れた授業改善などの効果があったと言える。
- ・「全校朝礼や学年集会は学校生活において自分のためになっている」の項目は、4年連続でポイントが上昇しているものの、全体において最低の57.1ポイントとなっている。臨時学年集会への否定的なコメントも見受けられることから、改善の余地がある。

保護者

- ・ポイントが低下した3項目「子どもはクラスに友達がいると言っている」「文化祭、体育大会等、学校行事は生徒が主体的に行っている」「学校のホームページやまちこみメールを利用している」のうち前者2項目については、生徒アンケートで前年度より上昇している項目であり、後者に関しては、否定的回答の割合が

34.7%もあるため、まちこみメールの活用とホームページの情報更新を積極的に行い、更なる利用に繋げたい。

- ・4年連続でポイントが上昇した「学校は、子どもたちの将来の進路や職業について適切に指導している」の項目は、ようやく80.7%の保護者から肯定的な回答をいただくことができた。今後も入試改革に伴う指導を含め、多岐にわたる進路指導の充実に努めたい。
- ・ポイント上昇が大きかった2項目「子どもの悩み（いじめなど）や相談に親身になって応じてくれる先生（教職員）がいる」「学校は保護者の相談に適切に応じてくれる」に関しては、全教職員がベクトルを合わせ一人ひとりの生徒が安全で安心してしっかりと学べる環境づくりに取り組んでいる成果であると考え、引き続きこの姿勢で取り組んでいきたいと考える。

教職員

- ・昨年度と比較するとポイントが上昇している項目が多い。
- ・特に「主体的・対話的で深い学びにつながるような学習指導を取り入れている」と「授業においてICT機器を積極的に取り入れている」の2項目に関しては、10ポイント以上の上昇があり、教職員の日々の研鑽が伺える。これは、生徒・保護者アンケート「授業がわかりやすい」の項目のポイント上昇にもつながっていると考える。
- ・3年連続でポイントが低下した「会議の内容が教育活動や学校運営に活かされている」の項目については、全体における割合が最低の49.0%となった。職員会議が連絡会になった影響があると考え、各種会議が、教職員間の意思疎通や意見交換の場として有効に機能している」のポイント低下と合わせて、職員会議以前の各種会議において教職員間の意思疎通や意見交換が十分に行える環境づくりに取り組むことが今後の課題のひとつであると言える。

学年別（全体値との比較）

1年生（生徒）

- ・「少人数によるきめ細やかな指導が行われている」が平均値より高い。中学校と比較して英語や数学等において少人数展開の授業が行われていることが要因と考えられる。
- ・「能力や努力を適切に評価している」「学校生活について指導を理解できる」「全校朝礼や学年集会は学校生活において自分の為になっている」が平均値より高い。中学校から高校に変わり、様々な変化や講話等を素直に受け入れられていると考えられる。
- ・「部活は盛んである」「施設、設備についてほぼ満足している」が平均値より高いが、中学校と比較すればよいのかもしれない。
- ・「興味関心に応じた授業がある」「実習実験による体験授業が行われている」「国際理解協力や語学研修など様々な取り組みを行っている」が平均値より低い。入学前の期待が高く、1年生ではまだ行われていない授業も多くある等、期待値と現実のギャップが大きいと考えられる。

1年生（保護者）

- ・多くの項目で平均値より低い。
- ・「子どもの悩み（いじめなど）や相談に親身になって応じてくれる先生（教職員）がいる」「将来の進路や職業について適切に指導している」「保護者の相談に適切に応じてくれている」「子どもに関する個人情報を守られている」で平均値より低い。子どもが大人に成長していく過程で、おそらく中学校のときよりも学校から家庭へ連絡することも減り、教職員との距離があるように感じているのではないかと考える。また、1年生ということもあり教員との関係をまだ築ききれていないと考えられる。
- ・「授業がわかりやすいと言っている」「教育方針や教育情報等をわかりやすく伝えている」「能力や努力を適切に評価している」で平均値より高い。生徒の値も高く、保護者にもそのことが理解されていると考える。

2年生（生徒）

- ・ほとんどの項目で平均値に比べポイントが低い。2年生となり目新しいことがなく学校生活がマンネリ化している生徒が多いと感じる。特に授業に関する項目でポイントが低く、これといった目標や進路を持たず、前向きに物事を考えていない生徒が多いように感じる。また、1年生で行われていた少人数展開が減り、学習についていけない生徒が増加しているのかもしれない。
- ・「実習実験による体験授業が行われている」で平均値より高くなっている。1年生ではなかった実験実習や体育コースでの体験授業が行われているためと考えられる。

2年生（保護者）

- ・学校行事や生徒指導等に関する項目で平均値より高い。保護者は生徒に行っている指導や学校行事への取り組みに関して理解し協力してもらえていると考えられる。
- ・学習に関する項目が平均値より低い。少人数展開がなくなり、子どもの成績や学習への取り組みが低下しているのかもしれない。

3年生（生徒）

- ・全体的に平均値に比べポイントが高い。3年生となり選択授業や進路等、自分で選択することが増え、学校生活や規則に順応して大人として判断・行動できるようになってきていることが要因と考えたい。
- ・「学校生活について指導を理解できる」「全校朝礼や学年集会は学校生活において自分のためになっている」で平均値より低い。3年間、一部の生徒がしたことに対する同じ注意の繰り返し等に不満を感じている生徒もいるためと考えられる。当該生徒以外も理解しておかなくてはいけない内容の注意も多くあることを理解させたい。
- ・「私たちの悩み（いじめなど）や相談に親身になって応じてくれる先生がいる」の項目が平均値より高い。生徒と教員の信頼関係が高まっているためと考えられる。

3年生（保護者）

- ・「学校に行くのが楽しい」「クラスに友達がいる」で平均値より高く、生徒の満足度が保護者にも伝わっていると考えられる。
- ・生徒のアンケートとは反対に全体的に平均値に比べ値が下回る項目が多い。特に「学校のホームページやまちこみメールを利用している」「教育方針や教育情報等をわかりやすく伝えている」で平均値より低く、保護者に対して学校の情報や生徒の状況があまり届いていない可能性がある。

令和元年度 学校評価アンケート 自由記述への回答

●教科指導について

今回頂きました教科指導に関するアンケート結果について、特に担当者によって生じる指導内容の差や指導方法の差については、ご意見を各教科でしっかりと受けとめ、これからもよりわかりやすい授業となるよう学校全体で授業改善に向けて取り組みたいと思います。

●進路指導について

進路指導に関しましては、各学年の年間進路ガイダンス計画に沿って指導をしております。ガイダンス時の配布資料は、進路ファイルに保管させており、懇談時と家庭で相談する際に利用するよう伝えております。3年生では、進路別にガイダンスを実施することも多いため、年度当初に年間予定表を配布し、放課後や夏休みの予定が立てやすいようにもしております。進路実現とは難しい課題ですが、本人が主体的に動かなければ決められるものではございません。ご家庭でよく相談していただき、何かご不明な点がございましたら、いつでも担任・進路指導部へご相談ください。

また、2020年度は入試制度の改革もございまして、ご家庭との情報共有ができるよう、保護者の方々に

も進路ガイダンスに参加していただける機会を設定できるよう企画してまいりたいと思います。今までは3学年共通の進路説明会を行っていましたが、次年度は学級懇談会の時に各学年に応じた説明会を実施いたしますので、是非ご参加いただき、ご家庭との連携を密にしていきたいと思います。

●本校での生活指導のありかたについて

美原高校の生活指導につきまして、日ごろからご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。生徒皆が安全でよりよい学校生活・学習の場となりますことを常々考えながら、生活指導をおこなっています。本校では卒業後の進路が就職3割、専門学校4割、短大・四大3割と卒業後すぐ、または1年～2年で社会に出る生徒が多く、『挨拶』や『時間を守る』、『規則を守る』等の生活指導が社会に巣立つ前のキャリア教育として重要な位置づけを担っていると考えています。明るく気持ちの良い挨拶や正しい言葉遣いのできる生徒は年々多くなり、懲戒指導件数や外部からの学校への苦情は減少してきました。また、遅刻してくる生徒も減少し、大阪府下200校近い高校の中でも遅刻の少ない学校として、指導ノウハウ等を聞かれるほどになってまいりました。これにともない退学率も改善し、生徒の多くが学校生活に前向きに、そして真面目に取り組む様子がみられるようになってきました。しかしながら、現在は欠席数が多くなっておりますので、欠席数を減らすことが課題となっております。高校生という多感な時期は、多くの事に挑戦し、成功と失敗を積み重ね、大人に成長していくものだと考えています。褒める指導も大切ですが、社会で生活していくには失敗から学ぶ事も多くあると思います。高校生活では成功よりも失敗の方が多くあると思いますが、失敗したときの叱咤激励、特に規則や法律を違反した時には厳しく指導をすることが大切であり、それが人生で大きな糧になることも多々あると考えています。

●校則について

本校は校則が厳しいのではないかとご意見を頂きますが、他校と比べても厳しい校則等はありません。多くの高校で同じような規則があり、本校ではその規則を『きちんと守らせる』指導をしています。本校では服装や髪型・化粧などで外見をアピールすることよりも、挨拶や言葉遣い、マナー遵守等の基本的な生活習慣や基礎学力を身につけることで内面的なアピールができるようになって欲しいと願いつつ、規則・ルールを整え指導を行っています。生徒には、本校での規則・ルールを理解させる努力を惜しまず、またなぜそれが必要なのかを説きながら指導を進めています。生徒の成長を常に考え、将来に希望がもてるように、そして社会に出たときの苦勞を少しでも緩和できるように強い信念をもって指導をおこなっています。また指導が厳しいとのご意見も頂きますが、教員間で指導のブレが生じないよう、教員同士で指導方法や生徒情報の交換を密に行い、個に応じた指導もおこなっています。暴言や暴力、制止を無視するような場合は、大人として毅然とした態度をとる必要もあり、厳しい言葉を使う事もありますが、基本的人権を無視するような行為や言葉を発する事はありません。万が一、そのような事があればご連絡をいただければと思います。

●携帯電話の指導について

携帯電話の持ち込みに関しましては、今年度ルールを変更いたしました。『校内使用の禁止』『校舎内（下足室を除く）への持ち込み禁止』『携帯電話の使用マナーの徹底』を原則に指導をおこなっております。登下校中の緊急時における連絡をすることが出来るようになったため、保護者の方より安心したとのご意見をいただきました。

しかしながら、生徒の携帯電話に関する現状としましては、授業中にゲームをする、通信手段としてのLINEを利用する、登下校中の自転車に乗りながらの使用や音楽プレーヤーとしての使用、不用意な写真のアップや投稿から加害者になったり被害者になったりと後を絶っていません。また携帯依存やゲーム依存といったように自宅だけではなく、常に携帯電話を使用していることで、SNSでのトラブルや授業中の使用によるトラブル、片手・わき見運転による交通事故等の多くの問題も抱えています。それに伴い学力の低下や心身の状態が不安定になる、人間関係でのトラブル等、直接的にも間接的にも問題が生じていることも事実です。本校としましては携帯電話の校舎内持ち込みについては継続して禁止をし、携帯電話に触れない時間を確保しつつ、携帯電話使用についての注意・指導（犯罪者になる・トラブルに巻き込まれるなど）も学校でおこなっています。授業中、部活動中での緊急の連絡は携帯電話ではなく、学校の電話への連絡をお願いします。

●自転車通学について

本校におきましては、自力通学を基本としております。あらかじめ許可された通学ルートで登下校するように指導しております。ご家庭におかれましても法令順守での許可された通学ルートで登下校をするようにご指導ください。万が一、事故にあってしまった場合は警察への速やかな連絡をよろしくお願いします。雨天時は大阪府の条例により『傘差し運転禁止』となっております。合羽の着用をするように指導しています。また条例違反があれば、学校としての指導も必要となると考えていますので何卒、法令順守をお願いいたします。

●自動車による送迎について

送迎により登下校時間帯に学校周辺での渋滞発生、近隣の私有地への無断侵入やスーパー等での目的外駐車等の苦情もあり自動車による送迎は原則、禁止しております。但し、怪我等でやむを得ない場合は、送迎許可証を発行し保護者による自動車による送迎を許可しています。もし、何かやむを得ない理由がある場合は担任に相談し、事前に学校の許可を得るようにしてください。くれぐれも無断送迎がないようにお願いします（無断送迎は指導対象となる場合があります）。

●考査前の部活動について

原則考査1週間前からのクラブは活動禁止です。考査期間中はクラブごとに試合の日程や練習状況を考慮して、活動日を定めております。

●ホームページについて

各担当や学年と協力し、より見やすいホームページをめざして更新していきます。

●エアコンについて

冷暖房（エアコン）に関しては府の規定の下、稼働させております。設定温度につきましても、既定内での稼働のため外内の気温差が小さいと利きが悪く、故障しているように感じることもあるかもしれません。また不具合を発見した場合は、迅速に対応し生徒の皆さんが快適に授業に臨める環境整備に努めて参りたいと考えています。

●トイレについて

大阪府では府立学校のトイレ改修工事を順次行っています。本校では昨年度4か所のトイレが乾式に改修されましたが、早急に全面改修することは困難です。ドアや窓も同様ですが、破損等があれば補修しますので、発見したときはすぐに担任の先生に報告してください。また、旧トイレの扉は新しく改修しましたので、落書きや破損のないように注意し、綺麗に使用してください。現在の小便器は使用の有無にかかわらず、一定時間毎に流れる仕様となっています。節水・衛生面の観点からも個別に流すタイプに改修できるよう、教育委員会に対して要望しています。体育館トイレは校舎と同様週2回、業者による清掃を行っています。場所的に土が入りやすい所ですので、必ずスリッパに履き替えるなどみんなが綺麗に使用できるよう心がけてください。

●廊下等の学校設備について

廊下の床は月に2回業者による清掃と、随時職員による清掃を行っています。また、年に1回ワックスかけを行っています。床材の剥がれや浮きなど躓きの原因となるような危険な箇所を発見したときは、すぐに担任の先生に報告してください。

学校で使用する椅子は大阪府統一の仕様となっていますが、現在の椅子では支障がある場合は対応を検討しますので、担任の先生に相談してください。

●グラウンドについて

グラウンドの土は2年に1回、教育委員会から整備用として予算配当がありますので順次補充しています。また、本校のグラウンドは水はけが悪いため、全面的に改修してもらおうよう教育委員会に対して要望しています。

●校舎北側の森の活用について

校舎北側の森は、奈良時代の平尾遺跡・集落跡の埋蔵文化財包蔵地に指定されています。植物の四季折々の変化や水際に集まる生物などを観察するビオトープとして楽しんでください。なお、森の中には池がありますが転落防止柵がありません。また、スズメバチの巣が発見されたこともありますので、散策の際は必ず許可を取って先生と一緒に入ってください。